

健康いさいき 笑顔のワケは…



阿波根コミュニティセンターで週に2回集まって健康体操などを実施している阿波根生き甲斐健康クラブの皆さん。健康体操など各種活動が認められて内閣府が主催するエイジレス・ライフ社会参加活動事例を受章しました。(裏面参照)



「ながりの豊かなまち」をめざして
糸満市の総合情報マガジン

12
no.664

発行日/2020.12.7 12月号 664 ■ホームページ/ <http://www.city.itoman.lg.jp/> ■印刷/株式会社アクト出版
■住所/〒901-0392 糸満市新崎町1丁目1番地(代表 ☎098-840-8111) ■発行/編集/糸満市企画開発部 秘書広報課

旬の話題を
お届け!

とれたて いとれぽ

西崎工業団地内に クリニック開院の報告



令和2年10月に開院した南部クリニックの城間寛院長らが市役所を訪れ、南部クリニック開院の報告をしました。城間院長は「糸満市では高齢者医療の需要が高いと感じている。地域の希望や市などからも相談・サポートを受けて開業することができました。限られた力ではあるが、地域のために貢献していきたいです」と話しました。

阿波根生き甲斐クラブが 受章の報告にきました。



内閣府が主催するエイジレス・ライフ社会参加活動事例(社会参加章)で阿波根生き甲斐健康クラブが受章しました。神谷輝子さんは「楽しみながらやっているので受章した際はうれしさもありましたが、その他団体のお手本として行動しなければという責任感もありますが、これからも継続して活動していきたいです」と話しました。

行政相談員の國吉恒子さんが 市役所に受賞の報告



市民と行政のパイプ役となる行政相談員の國吉恒子さんが全国行政相談委員連合協議会会長表彰を受賞し、市役所で受賞の報告をしました。國吉さんは「相談員をすることで、人生が豊かになったと感じます。相談員はそのような経験をさせてもらえる場所だと後輩に伝えていきたいです」と話しました。

沖水生と高嶺小学校児童が シラヒゲウニの人工授精



10月27日(火)、沖縄県立沖縄水産高等学校総合学科海洋生物系列の2年の生徒と糸満市立高嶺小学校の5年の児童が、シラヒゲウニの人工授精による育苗生産実習を行いました。シラヒゲウニをプランクトンから成体になるまで飼育しているのは、全国でも沖縄水産高等学校のみということです。

高嶺小学校の生徒からは「とげが痛そう」、「はじめてウニをみた」という話がきけました。また同校を代表して伊敷侑さんは「ウニは水に入ると触手をだすということがわかりました。今日はウニの授精について教えてくれてありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。

ちむちむ市場開催!!



新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送っていた「ちむちむ市場」が、11月22日に開催されました。新しい市場となって初めての開催となる今回のちむちむ市場では、新型コロナウイルス感染対策を講じ、規模縮小・出店店舗数などを減らして開催となりましたが、多くの来場者がイベントを楽しんでいました。